

# 令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立おなづか小学校

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・社会科見学や水道キャラバン、スーパーマーケット見学・工場見学などの体験学習を行ったことで、児童が興味や関心をもって学習している。
- ・昨年度課題であった、基礎的な内容に関する問題は、4, 5年生においては目標値に達することができた。特に昨年度課題であった4年生の「安全をまもる仕事」や5年生「都道府県の様子」は、ほとんどの問題で目標値に達した。5年生は、繰り返し都道府県の位置等の基礎的な内容を学習させた成果と思われる。

### (2) 課題

- ・基礎的な内容に関する問題は、6年生は目標値に達していない。正答率が目標値に大きく達していない設問は、「世界の中の国土」「日本の中の国土」である。日本国内の山脈や平野、諸外国の位置等を含めた基本的な知識や用語の定着率を上げる必要がある。そのために、繰り返し覚え確認する活動を増やしたり、用語の意味や適切な使用場面についても指導したりする必要がある。
- ・どの学年も複数の資料を読み取り、読み取った内容を記述する問題に課題がある。

## 2 大田区学習効果測定の結果分析

### (1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好である。基礎、活用等の項目すべてにおいて、区の平均と同程度である。		
第5学年	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好である。基礎、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度は、区平均と同程度であるが、活用は若干下回る。	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好である。「ごみのしよりと利用」や「特色ある地域の様子」の正解率が高い。「都道府県の様子」に課題がある。	
第6学年	全体的に目標値を下回っている。基礎、活用等の項目すべてにおいて、区の平均を下回っている。	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好である。「日本の農業」や「自動車をつくる工業」の正解率が高い。「日本の水産業」と「世界の中の国土」に課題がある。	全体的に目標値とほぼ同程度である。「工業生産と貿易」と「世界の中の国土」は、少し課題があるが、「日本の国土と人々の暮らし」は正答率が高い。

### (2) 分析（観点別）

#### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
校内平均正答率は、目標値とほぼ同程度であるが、「地域や市の様子」の正答率が目標値に達していない。地図記号を含めた地図の読み取りに課題がある。	校内平均正答率は目標値とほぼ同程度である。資料の細かい部分を読み取り、条件や工夫を見付けて回答する問題につまずきがある。	校内平均正答率は、目標値と同程度である。記述問題は、平均程度の正答率である。長い問題文や資料を読み取る必要のある問題に課題がある。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>5年：校内平均正答率は目標値と同程度である問題が多い。「都道府県の様子」はよく理解している。「ダムのおしくみ」や「地震への備え」の知識、資料の読み取りに課題がある。</p> <p>6年：校内平均正答率は目標値を下回っているが、中でも「世界の中の国土」「日本の国土」に関する知識が身につけていない児童が多い。</p>	<p>5年：校内平均正答率は目標値と同程度であるが、複数の資料を組み合わせる回答を導き出すタイプの問題にまずく児童が多い。</p> <p>6年：校内平均正答率は目標値を下回っているが、「情報を生かした生産」は、目標値に達している。全体的に資料を読み取って表現する問題にまずく児童が多い。</p>	<p>5年：校内平均正答率は目標値と同程度であり、「くらしを支える水」「ごみの処理と利用」は目標値に達している。資料を読み取って記述する問題に若干課題がある。</p> <p>6年：校内平均正答率は目標値を下回っているが、中でも複数の資料を読み取り記述する問題に課題がある。</p>

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年から地図帳を活用し、地図記号や等高線、方位の指導を徹底し、覚えさせるようにする。また地図、グラフ資料の読み取りやを重点的に指導する。</li> <li>・問題の形式として、複数の選択肢の中から、正しいものを選ぶ問題にまずきがあるので、学習した知識を活用し、問題解決をする機会を学習の中に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表を読み取る学習は今後も継続して学習活動に取り入れる。</li> <li>・学習終わりや単元終わりにキーワードを提示したり例文と一緒に考えたりしながら、最終的には学習感想やまとめを自力で書けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科見学、工場・スーパーマーケット見学等体験学習を行い、関心意欲を高める。</li> <li>・ICTを活用して映像や写真資料を効果的に活用し、関心意欲を高める。</li> <li>・より一層実感を伴って理解させるために、ふだんの生活と学習のつながりを意識させる活動を取り入れる。</li> <li>・様々な資料や長めの文章から読み取ったことを表現する活動を繰り返し経験させる。</li> </ul>

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な用語のうち、生活の中であまり使わない馴染みの薄い用語の定着に課題がある。学習のまとめにおいて学習した用語を使った文章を書く活動を取り入れ、活用させることで、定着を目指す。</li> <li>・地図資料を使って学習する機会を増やす。</li> <li>・ICT機器等を活用し、都道府県・日本や諸外国の位置の定着を図ったり、家庭学習で繰り返し習熟を図ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表、写真、年表等複数の資料を比べ、共通点や相違点を考えたり、正しい選択肢を選んだりする学習を継続して取り入れる。</li> <li>・学習終わりや単元の終わりに、学習して分かったことを文章で表したり、説明したりする活動を取り入れる。その際、学習した社会科の用語を使用させることで、学習で得た知識を活用する力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し、映像や写真資料を効果的に使わせるようにする。</li> <li>・資料から分かったことや気付いたことを表現する活動を繰り返す。</li> <li>・タブレットを活用して意見を共有したり、学習感想にコメントを付け合ったりする活動を取り入れ、多様な意見に触れることの面白さを実感させ、主体的に学習に取り組む態度を育成する。</li> </ul>